

横浜市と秋田県が

クルーズに関する連携協定を締結しました！

横浜港と秋田県内港湾（秋田港、船川港、能代港）は、横浜船籍である飛鳥IIの横浜発着クルーズをはじめ、同一クルーズの寄港地となることが多く、相互にPRすることが可能です。また、連携により、ウラジオストク・サハリンへの寄港を含めた新しい商品の開発も期待できるため、本日、横浜市長及び秋田県知事との間で、クルーズに関する連携協定を締結しました。

協定締結の概要

【日時】 令和元年 10 月 11 日(金)

16:40~17:00

【会場】 横浜市役所 2 階

市長応接室

【締結者】 横浜市長

はやし ふみこ
林 文子



秋田県知事

さたけ のりひさ
佐竹 敬久



※本で行われた連携協定締結に関する写真データを希望されるメディアの方は、お問合せ先までご連絡ください。

【締結に際しての林市長によるコメント】

秋田県内港湾と連携することにより、レール&クルーズやフライ&クルーズの展開、ウラジオストクやサハリンなどへの寄港を含めた新たな商品開発などが可能となります。

両港が連携して客船の誘致や寄港地PR、商品開発を行っていくことで、共に東日本におけるクルーズを盛り上げていきます。こうした取組により、クルーズ市場をさらに活性化させていきます。

【協定書本文 別添】

お問合せ先

港湾局客船事業推進課担当課長 荻原 浩二

Tel 045-671-3870

横浜港と秋田港・船川港・能代港との連携に関する協定書

横浜市と秋田県は、クルーズ船の誘致促進、横浜港及び秋田港・船川港・能代港の発展に向け、両者の連携に関する協定を締結する。

両者は、クルーズ船の一層の誘致を図るため、下記の事項について連携して取り組むこととする。

- 1 横浜港及び秋田港・船川港・能代港に寄港するクルーズ航路の新規開拓等を目指した、船社の招へい、国内外船社や旅行代理店等への訪問等
- 2 横浜港及び秋田港・船川港・能代港に寄港するクルーズ船の乗客に対する連携した寄港地観光PR活動
- 3 その他両者のクルーズ船の誘致に資する活動

この協定の締結を証するため、本書を2通作成し、各自1通を保有する。

令和元年10月11日

横浜港港湾管理者
横浜市長

秋田港・船川港・能代港港管理者
秋田県知事
